

絵と文・大原せいぞう

オーディオメーカーの老舗マッキントッシュ社から新製品が発表された。

オーディオメーカーと断っているのは、今話題の携帯電話アイフォンや、ポータブルオーディオ機器アイポッドのメーカーであるマッキントッシュ社のパソコン、マック（マッキントッシュ）と、よく混同されるからだ。他に、一九七二年不二家がロントリーマッキントッシュとライセンス契約し、一九七三年から発売になったマッキントッシュの「キット・カット」なんていう受験生に大受けのチョコレートもある。話は戻るが、オーディオのマッキントッシュ社は一九四〇年にスタートし、当時のオーディオ機器の中では驚異的なパワーを誇り、世界のスタジオエンジニアから絶賛を受けたオーディオマニア憧れのブランドのひとつである。一方アップル社は一九七九年林檎の品種名からMcintoshと名付けたいのだが、先に存在したオーディオのMcintoshと区別するためにMとCの間にaを入れ、Macintoshとし、現在に至っている。

面白いことにアップル社は独特な発想とユニークなアイデアで、パソコンや、「軽薄短小」の代名詞ともいえるアイフォン、アイポッドを発売し、空前の人気を博している。一方オーディオのマッキントッシュは、今回の新製品についても然り、「重厚長大」の路線は一步も譲ることなく、一台六〇キログラム以上のアンプに、マッキントッシュユブルーと呼ばれるアナログメーターを配し、重厚かつ鮮明なサウンドを再現するマニア羨望の製品である。この両者の対比、非常におもしろい。

